

大学院医学研究科

教育研究上の目的

「獨創一理」の建学の理念にもとづき、藤田保健衛生大学大学院医学研究科では、真理を探究する独創的研究によって学術水準の向上に寄与する研究者を養成することを目的にしています。さらに、専攻分野について自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識や高い臨床的能力などの養成によって将来の指導的人材となる研究者、教育者、高度専門職業人の育成を進めます。

カリキュラムポリシー

本学大学院医学研究科（博士課程）は、形態系、機能系、保健衛生系、分子医学系、内科系、外科系の6系統の専攻課程から成り立っています。各専攻課程においては、教育研究上の目的にもとづき、「生命の尊厳と医学の社会的使命」を基盤に、医科学分野の病因・病態の解明や生体機能の探求を推進する基礎的・独創的研究と高度先進医療・健康開発活動を推進する臨床医科学研究に重点を置いた取組みを行います。

形態系専攻課程

形態系専攻課程は、機能形態学、細胞生物学、病理学、分子病理学、ウイルス・寄生虫学の5つの専攻分野により研究・教育体制を組織し、形態変化と機能を有機的に結びつけることを目指して教育・研究を行います。この目的のため、本専攻課程では、各専攻分野からなる研究・教育体制を組織し、シグナル伝達系・ホルモン分泌の機能発現・制御機構の解析、中枢神経系の形態形成や情報伝達機構の解析、組織化学的手法を駆使した癌や感染症の病態解明、免疫細胞の抗原提示機構や代謝異常症の分子機構の解明、ウイルス・マラリアなどの感染・生体防御の分子機構の解析を主要なテーマとして、魅力ある大学院教育を目指します。

機能系専攻課程

機能系専攻課程は生理学、神経生理学、生化学、薬理学の4つの専攻分野から構成されています。機能系専攻課程では、おもに生理学的手法、生化学的手法、薬理学的手法を用いてそれぞれの専攻分野の特色を生かした研究を行います。本専攻課程では生体機能の解明に重点を置いてライフサイエンス研究を行うとともに、医学・医療の発展と密接に関連した基礎医学的研究を行います。そして、将来これら基礎医学分野の研究・教育に携わる研究者・教員の育成を目指します。また、臨床医学分野においても活躍できる人材の育成も積極的に推進します。

保健衛生系専攻課程

保健衛生系専攻課程は予防医学、公衆衛生学、法医学、微生物学、免疫学、医学教育学の6つの専攻分野から構成されています。様々な問題を抱える社会システムや国民生活と密接に関連した医学的事項を幅広く研究し、将来これらの分野を担う人材の育成を行うことは教育上、極めて重要となっています。この目的のため、本専攻課程では各専攻分野からなる研究・教育体制を組織し、保健統計、各種疾患の疫学、産業疲労・ストレス要因の解明、メンタルヘルスの疫学、毒素原性大腸菌の遺伝学的・疫学的解析、細菌毒素の毒性機序、突然死の病態生理、乱用薬物毒性機序などを主要なテーマとして、優れた研究にもとづく魅力ある大学院教育を目指します。

分子医学系専攻課程

本学総合医科学研究所を構成する5つの専攻分野（分子遺伝学、難病治療学、医高分子学、システム医科学、遺伝子発現機構学）により構成される本専攻課程は、分子生物学的及び細胞生物学的手法を駆使して様々な疾患の原因解明、更に予防・治療法開発につながる基礎的教育研究を展開するとともに、臨床医学系との活発な共同研究にもとづく医療の最先端につながる研究を目指した大学院教育を行います。

内科系専攻課程

内科系の各専攻分野はこれまでの各教室の伝統を生かしながら新しいアプローチも取り入れることでリサーチマインドに溢れたアップデートな臨床医の育成を図っています。藤田保健衛生大学病院の豊富な臨床例から病態生理学的な研究や疫学研究が行われています。また、基礎の教室と共同研究による分子生物学や分子遺伝学的手法から最新の診断機器、例えば画像診断装置を用いた解析まで幅広く研究がなされています。対象となるのは、多くの人々が罹患する普遍的な疾患であり、これらは明日からの臨床につながる研究を目指しています。

外科系専攻課程

外科系臨床を扱う 20 数部門からなる各専攻分野では、現代社会の多様なニーズに対応可能な幅広い臨床能力を身につけた研究者の養成及び高度医療人の養成を目的としています。大学院生はこれらの部門のいずれかに所属することとなります。社会からの要請に応えられる質の高い医師や臨床研究者の養成を目指すとともに、外科系の各学会が認定する認定医・専門医の取得も併せて推進することにより、広く社会に貢献できる人材の養成を目指します。